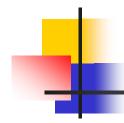


## フィリピン共和国



正式名称はフィリピン共和国

(Republic of the Philippines)

7000を超える島がある

総面積は約30万km<sup>2</sup>

(北海道を除いた日本の面積とほぼ同じ)

人口は約8,300万人

公用語は英語とフィリピノ語(タガログ語)

この他、各地に80種類以上の方言があるといわれている

気候は熱帯性気候

雨季(6月から10月)と乾季(11月から5月)

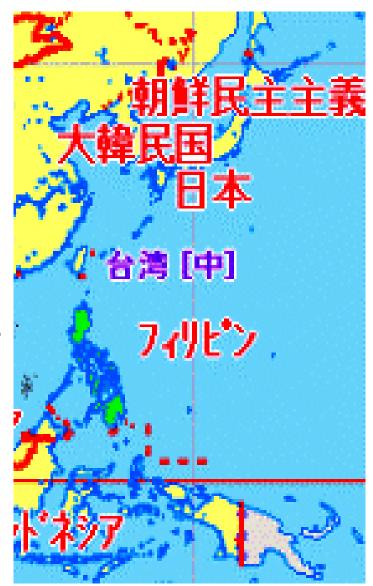
国民の83%がカトリック、その他のキリスト教10%

イスラム教は5%

日本からフィリピンの首都マニラまで飛行機で約4時間

フィリピンには日本との時差は1時間

(日本が正午なら、フィリピンは11時)



ネグロス島バコロド市 (Pacalod)

(Bacolod)

私が赴任したネグロス島は、 マニラからさらに飛行機で 1時間南下したところにある 4番目に大きな島。

州都であるバコロド市の人口 は約43万人。 ネグロス島第1の都市。

バコロド市ではイロンゴ語という言葉が使用されている。







フィリピンの義務教育

小学校6年間、高校4年間

小学校は6~12歳、高校は13~16歳の生徒が通っている。

しかし、家庭の事情で登校できない子どももたくさんいる。

一旦学校に来られなくなっても、いつでも復学することができるようになっている。 よって、小学 1 年生といっても様々な年齢の子どもたちが在籍している。

### 現状

識字率:92.2%(2000年調查)

1,000人(小学1年入学生)

中退者312人(多くが小学1、2年生時で中退)

通常修了者439人(その他249人が平均9.6年で小学校を卒業)

1,000人(高校1年入学生)

中退者389人

通常修了者248人(その他353人が平均6.7年で高校を卒業)

## フィリピンの学校生活は?



### 1日の流れ

7:30 登校

全校集会 (国旗掲揚・国歌斉唱)

7:50 午前の授業

11:30 昼休憩

(子どもたちは自宅に帰ってご飯を食べる)

13:00 午後の授業

16:00 下校

(全校集会をするところもある)

### 放課後 部活動はない

その代わり、自分たちでグループを作り ダンスやバスケット・セパタクローなど をしている。





## フィリピンの授業・クラスは?



### 授業

フィリピン語・英語 数学・理科・社会 芸術(音楽・体育・美術が一緒になった教科) など

1日に6つ授業がある 教科によって授業時間が決まっている 例:数学60分、芸術80分など

### クラス

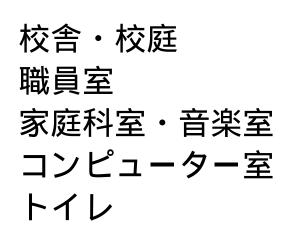
「1クラス50人未満」政府が推奨 現在は1クラス60~80人で行われている 学校が多いのが現状である。

フィリピンでは、学力によってクラス分けがされている。



教室は日本より少し狭い感じでしょうか。 生徒は机付きのイスに一人ずつ座っている。 教科書は学校に保管されていて、授業の時に貸出。 生徒たちは各自ノートを持参する。

## フィリピンの学校設備













SBTP(教員研修会)への参加 生徒対象のワークショップ開催 Math Challengeへの参加 ポンテベトラ小学校・高校への定期訪問 JOCV NEWSの発行 フィリピン通信「フィリピン共和国へMabuhay!」の発行 JICAーNetでの国際交流 カード交換の仲介

## SBTP(教員研修会)

SBTPとは、フィリピンの小学校や高等学校の先生方が参加している研修会です。この研修会は、フィリピンの教育省によって1999年に始められた。

## SBTP(教員研修会)とは・・・

- ・地区ごとに行われる教員研修会
- ・各地区ごと 月に1度開催
- ・各教科に分かれて模擬授業、検討会

### SBTPの特徴

- ・すべての教員に研修参加の機会を与える
- ・少人数のグループで行う
- ・学校の授業を研修の場とする
- ・特別な経費を必要としない

SBTPの成果と課題

活動する中での困難



模擬授業の様子



検討会の様子





夏休みや授業の合間などの時間を使って、近郊の隊員と協力して 生徒対象のワークショップを実施。

### ワークショップの目的

- ・生徒に数学の楽しさを伝える
- ・教員対象セミナーの代替
- ・生徒と触れ合いたい!

### 実施内容

「タングラム」や「Four Fours」

「凹四角形の内角と外角の関係」

など







広島平和記念資料館からお借りしたビデオや原爆ポスターを使用して平和学習を行った。 また、佐々木禎子さんの折り鶴への思いを伝え、生徒全員で折り鶴を折った。

広島出身者としての役割

ヒロシマ・原爆について

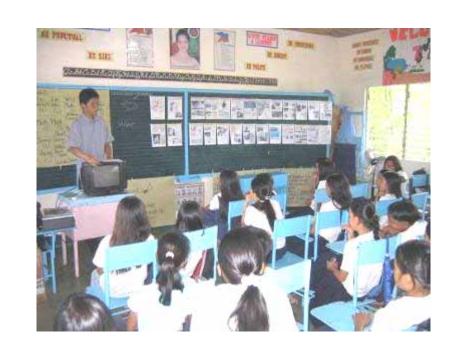
フィリピンの平和学習

「ミンダナオ島でのモロ民族解放戦線

とフィリピン軍との紛争」

第二次世界大戦での日本軍の侵略

子どもたちが書いたメッセージから
"Stop the war!" and "Never again"
Peace of the world.



## Math Challenge



各地区の学校代表が集い年1回数学コンテストが行われる。 このコンテストの準備及び審査に携わった。

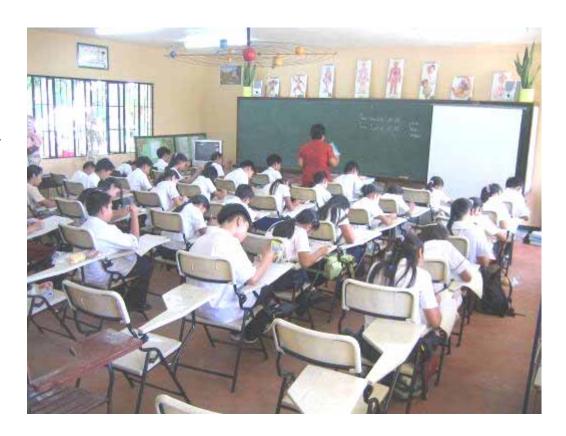
各地区大会

ネグロスオキシデンタル州大会

第6地域大会

全国大会

代表者は学校の名誉をかけて競う



## その他のコンテスト

数学のコンテスト以外にも、下記のようなコンテストも実施されていました。



テーブルセッティングコンテスト



継ぎ木コンテスト



## ポンテベトラ学校への定期訪問

SBTP以外にポンテベトラ学校へ定期訪問をし通常の授業の様子や学校 生活を見学

### 定期訪問の目的

- ・普段の授業とSBTPのデモレッスン との違いを知る
- 生徒とのふれあい
- ・先生方との関係構築



## JOCV NEWS



同じオフィスに配属の協力隊員とSBTPで訪れた学校の紹介、SBTPの様子、その他の活動(ワークショップなど)の紹介、SBTPに関する私達の考察などを記事にして月1回発行

### 目的

- ・活動の広報
- ・先生方との関係構築
- ・フィリピンでの上司への活動報告

# JOCV NEWS In Normae Occidental

10

Editors: Makoto SAITO, Takahiro YANO

#### **☆** Introduction

It's already October. Bacolod City celebrates MassKara Festival. There is excitement in the town. The plaza is surrounded with booths. Amusement parks appeared on a place near the sea. Many people come over around the plaza after it gets dark. Some jeeps change the routes because some streets are closed for traffic. The silent and holy atmosphere of the plaza at daytime turns into gorgeous and chaotic one at night. The excitement and the noise continued until midnight.

### Monthly SBTP Report !! =

We joined two SBTP. One was in Cauayan, the other was in Binalbagan. It was so hard to go to both of the venues. I had to leave Bacolod for Cauayan at 5 o'clock. On the way to go to Binalbagan, we had to pass the way through an overflowing river!!

We are very happy because the district supervisors and teachers welcomed us. And they had good demonstrations and discussions. Both of the venues are very far from Bacolod, but we would like to go





### SBTP in Iloilo City

I attended SBTP in Iliolio City. I was surprised that it was quite different from our SBTP in Negros Occidental.

In Iloito City, SBTP is held in only one district once a month. SBTP is rotate in districts. There are not more than 10 schools in one district. It is possible because they are a small division.

Teachers don't observe a demo lesson but principals, school heads and supervisors. So, there is a observer in a demo lesson. After a demo lesson, there is no critiquing. Actually, I observed only one ordinary lesson alone. It was a usual day for SBTP I was the only observer.

After the first demo lesson, I was brought to the principal's office to wait for other participants who had been observing in other venues. They were coming over to our school. In Iloilo City, after observing, participants (observers) come over from each venue to one school. And then they have a conference there.

I don't think that it is a good way. I heard that this is an advantage because pupils will not miss their classes. However, I think that there are also a lot of advantages. In previous SBTP, it is rather for observers than for a demo teacher. We can't usually observe other classes. So, we can have a chance to observe it in SBTP. But in Iloilo's SBTP, not all teachers are given the chance to demo. Aside from that, I think that there are still a lot of disadvantages in their SBTP.

We should not formet that all teachers have an equal opportunity to participate in SBTP.



## フィリピン通信 「フィリピン共和国へMabuhay!」

広島県江田島市立大柿中学校の生徒へ フィリピンの文化・生活習慣、自分の私 生活などを紹介

発行の目的

生徒の国際理解へのきっかけ作り 活動報告(生存報告)

### 発行数

1年8ヵ月の間で1号~16号まで発行



明在、和は萎騰で苦砂の活動を行っています。また、私かいるネグロス島 オキシテンタル僧ではイロンコ語という別名の言語もあり、日常生活では

イロンゴ目を使用することもあります。 ここフィリビンには、驚くほどたくさんの規模医があるんですよ。 今回の HOTな抵請は フィリビンの言語です。

#### ☆☆☆ フィリビンの言語 ☆☆☆

フィリピンには、80以上の言語があるといわれています。正確にいくつの言語があるのか分からないというのも違い ですね。主な言語として、タガログ語、セマア/語、イロカ/語、イロンゴ語などがあります。これらの現地の言語は日 本でいず、方言」とはちょっと違っていて、各々が個別の言語でありお互い通じないものもあります。このネグロス島で も、同じ島で東州はセブアノ語、西州はイロンゴ語といったように現地語が異なることもあります。 フィリピンの公用語は、英語とタガログ語を基準にしたフィリピノ語です。学校の授業は英語・フィリピノ語で学ぶの で、フィルビンの人々は英語・フィリピノ語・自分達かせんでいる物像の発射性の3言語は話せるというわけです。 まいで

テレビ、ラジオ放送では、フィルビノ語と英語が入り間じって使われているけれど、日常会話ではやっぱり現地の言語 が自然とでてくるようです。3言語を理解し使いこなせるフィリピンの人達、いつも続心させられます。

#### いろんな「おはよう」

でご問題!

タガログ語 マガンダン・ウマガ

マアヨン・マンタッグ イロカ/語

セフア/語

ナイン・ガ・ビガッフ・ヨ イロンゴ語 マアヨン・アガ

#### ある日の会話 -イロンゴ誘縮-

同僚:ご機能がかが? Kamusta ka?(nu.24 m?

マコト:元気 元気!

Maayo, Maayo / (TPE TPE: 同僚: 何処行くの?

|生インカマカットップ| マコト: 食堂に行くんだよ。 Makadio sa carinderia マカートゥ サ カレンテリア

お側が空いたよ



BYTESON SOME L. NO.

WALLANDOWN AT

#### ☆☆☆ 言語変われば意味も変わる! ☆☆☆

私の名前は「マコト」と言いますが、友人・関係からは「マック」「マッキー」と呼ばれています。 というのも、この「マコト」フィリピノ語で「たくさんのシラミ」という意味になるらしく、こちらの人達の他のもあって ニックネームが付けられました。もちろん言葉が違えは意味も違ってくるのですから、仕方がありませんよね・・トホホ、

言語は代記 いずえや色 特任えることができるとでも保护は手段です。日本人はどうしても「問題うと見ずかしょ」 な。とか「ちゃんと伝わるかな?」と不安が先にたって、無口になりがちです。私も協力隊に参加するまではそうでした。 でも、完璧に話すことを考えるより、間違っても1411とにかく会話をすることが大切。実際に話してみると、言葉は上 年く話せなくても、こちらが一生懸命身振り手振りを交えて伝えようとすれば、相手も理解しようと耳を傾けて聞いてくれま す。間違っても笑われることもありません。富語は暗逸えながら上達していくものだと実態しています。 日本も今や国際社会の一員、皆さんも将来、様々な国の人達と出会い話す機会を持つかもしれません。その時には是非 間違いを恐れず 会話を楽しんでください、チレア 国境を終え起手と理解し会いましょう



## JICA —Net国際交流

広島県立安古市高校とバタアンナショナル高校(バタアン州)とのJICA-Netを使用した国際交流

**JICA-Net** 







## カード交換(国際交流)

広島市立五日市南中学校とポンテベトラ高校(ネグロスオキシデンタル州)の カード交換による国際交流の仲介

英語によるコミュニケーション

協力隊員を活用







## 協力隊に参加して

## 現地での苦悩や喜び

- ・言語
- ・生活習慣・生活リズム
- ・治安

## 協力隊に参加して感じたこと

- ・外国語習得の必要性
- ・豊かさの本質について
- ・国際協力の実際
- ・国際人としての日本人のあり方
- ・日本の良さを再認識





## 教員・生徒への還元

- ・協力隊活動での経験の紹介
- ・現地情報の提供や紹介
- ・異文化理解・国際協力の授業
- ・フィリピンの学校の生徒達と手紙などを通して交流
- ・教材教具の提供・紹介

学校以外の教育活動において

## フィリピンの食事







## フィリピンの乗り物

### ジプニー

中距離の移動に使用。運賃7ペソ(約15円)



### トライシカット

短距離の移動に使用。私の通勤手段でした。





トライシクル

近~中距離の移動に使用。 バイクの横にサイドーカーがついたもの。

## マスカラ祭

毎年10月1日~19日までの19日間開催されるネグロス島の祭りです。 世界から多くの観光客がやってきます。





